

令和 2 年度

事業報告

1. 事業概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭に、本会は会員相互の親睦を図り、千葉県立成田北高等学校の発展に寄与することを目的とし、その達成のために次の事業を行いました。

2. 事業実施報告

(1) 会員相互の親睦と啓発に関する事業

- 1) インターネットを利用した広報・情報提供活動の充実を図るため、WEBサイトの充実やFacebook等との連携を踏まえ、その運営に努めました。
その結果、母校と協議し、その承認を得て過去を含む周年記念誌について、本会WEBサイトで公開いたしました。
さらに、Facebookにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けている飲食店を中心に、少しでも同窓生のお店を応援するため、「同窓生のいるお店」を企画し、掲載開始いたしました。
- 2) 会報の編集・発行について、委員の選任・配布方法等を含め継続して検討いたしました。
- 3) 同期会案内(往復はがき)の作製・発送代行事業と情報管理体制の構築、インフラの整備を実施に向け、継続して検討いたしました。
- 4) 母校文化祭「黎明祭」において、昨年に続き生徒の実施するAED体験に関して、成田消防署に勤務する同窓生が指導・協力、応援タオルと扇子の販売等による本会の啓発活動については、「黎明祭」の開催中止により実施できませんでした。
- 5) その他、会員相互の親睦と啓発に寄与することを目的とする事業を実施いたしました。

(2) 母校の発展に寄与する事業

- 1) 母校と協議し、必要備品の購入あるいは設備の拡充や補修等、教育振興のための支援を協議し、結果、本年度の実施を見送りました。
- 2) その他、母校の発展に関することを目的とする事業を実施いたしました。

(3) その他本会の目的を達するために必要な事業

- 1) 令和2年度卒業生に、卒業記念品として卒業証書フォルダーを贈呈いたしました。
- 2) 啓発グッズの費用回収に努めるとともにその充実を検討いたしました。
- 3) 母校・PTA・後援会と連携し、創立40周年記念事業に協力いたしました。
- 4) 母校「創立40周年記念事業実行委員会」に参画し、緞帳(卒業記念品)の修理等、当該事業に関する費用の一部を援助いたしました。
なお、規模を縮小しての事業実施となったため、残金戻入が発生いたしました。
- 5) 本会の円滑な運営と継続性を確保するため、「理事の設置に関する要綱」について検討し、令和2年9月26日より施行いたしました。
- 6) 会長が代表し、入会式を挙行いたしました。(第39期 277名)
- 7) 会則に定めるもののほか、本会の目的を達するために必要な事業を実施いたしました。